

九条塔南だより 1月

平成20年1月9日
京都市立九条塔南小学校
校長 富田 常子
電話 691-1540

新春のお慶びを申し上げます

今年が皆様にとって幸多い年でありませうお祈り申し上げます。教職員一同、心新たに一丸となって九条塔南教育の推進に努力したいと存じますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。また、今後、ますます情報化・国際化の波が押し寄せてきます。この社会の急激な変化とともに先行き不透明な21世紀を、子どもたちにとって展望のある豊かなものとするを旨とし、学校・家庭・地域が連携協力して取り組んでいきたいと存じます。

防災とボランティアの日

平成7年1月17日の早朝に阪神大震災(震度7)が発生してから、早いもので13年の年月が流れようとしています。多くの死者を出したこの大惨事を教訓に、災害時のボランティア活動と自主防災の重要性が広く認識され、1月17日を『防災とボランティアの日』として、各地で防災に対するいろいろな取組が実施されています。

本校でも、1月17日に全校一斉に安全指導・地震による避難訓練を実施します。はじめに、教室で地震が起きた時の対処について話し合い、その後、震度6の強震が起こったという想定で避難訓練を行います。自分の行動を見直し、あらゆる災害や事故から自分やまわりの人々の安全を守ることの大切さを理解し、体験学習の場としていきたいと思えます。当日の給食には、『防災とボランティアの日』の行事献立として、メニューに『すいとん』が出ます。また、持ち帰り給食として、『かんぱん』を配布します。

子どもの困り(分からない・参加できない・できない)を支援するために ～ LDの子どもたちに対する支援を考える ～

これまで、文部科学省がLDの主たる症状として定義しています「聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する」という6つの能力のうち、最も比率としても高く、学習に及ぼす影響も大きい「読む・書く」のつまずきとそれに対する支援の方法について3回に分けて簡単なまとめをしてきました。今回は「計算する」のつまずきについて考えていきたいと思います。

「計算する」のつまずきにはどんな状態が...?

いくつかの例を挙げてみます。

「1・2・3・4...」と正確に数が唱えられて、「8」は「八」として読み取っても、「3・4・5」の物を一目でいくつあるかが言えずに、数えてしまう。



数えるのが苦手で、よく数え間違いをしてしまう。

...注意の集中が難しかったり、目で見える物を追うことが苦手だったりする子は物と数唱の1対1対応が正確にはできにくくなります。

数えている物が20以上の大きな数になると、しばしば数え間違いをする。

...数の並び方が理解できていないと、大きな数になってきて混

乱します。

「1」が10個集まって「10」になると、「十の位」に移るといふ十進法の仕組みが理解できない。

計算の仕方は分かっているが、一度にたくさん問題を出されたり、早くやり終えることを目標にされると混乱してしまい計算ができなくなる。

繰り上がりや繰り下がりのある計算の手順を覚えておくことが苦手でうまくできない。

掛け算の「九九」が覚えにくい。

「 $32 \div 4$ 」のような割り切れる割り算なら答えがすぐ出せるのに、「 $33 \div 4$ 」のような余りのある割り算にあたると途方にくれてしまう。

このように各学年で学習する内容ごとにいろいろなつまずきを表します。

「計算する」ことに対するつまずきの原因は...?

数えるドリルを繰り返し、多くの問題に時間をかけてチャレンジすれば解決するという、単なる計算スキルだけのつまずきでないことは確かです。「計算する」ことに対するつまずきの原因には多くの要素があると考えられています。(いくつかを挙げています。)

a. 算数・数学用語の問題

算数では日常生活ではあまり使うことのない算数独特の用語が数多く使われます。たす、引く、より多い、より少ない、円、半径、辺、直線、割る、かける、分数、分母、分子、などなど。多くの子どもたちはこれらの算数用語で混乱します。

b. 読みの問題

数字は一つ一つの数字にあらかじめ「何の位」という意味が込められていて、約束どおりに読み・書きします。

156は「ヒャクゴジュウロク」と読み「100506」とは書きません。

しかし「ヒャクロク」を「1006」と書いて、間違いに気づけない子は多くいます。

c. 聴覚記憶の問題

九九を「唱えて覚える」ことは日本人の計算力の高さの基本です。しかしこの方法も万能ではありません。聴覚記憶(耳から入る音の情報を記憶する)の弱い子どもたちにとってはとても難しい課題で、なかなか唱えているだけでは記憶できません。

また「シシ16」「シシチ28」「シチシ28」「シチシチ49」などは音がよく似ているために覚えにくく、「シの段」「シチの段」ではさまざまに混乱してしまいます。

d. 短期記憶の問題

8152と8512は、よく似ていますがもちろん違う数です。「ハッセンヒャクゴジュウニ」と音で聞いて、あるいは「8・1・5・2」と4つの数字を目で見ても、記憶することが苦手な子どもたちは順序どおりに数を覚えておくことに努力が必要です。

『LD』についての研究は、「読み・書き」のつまずきに対するものからスタートしました。「計算する」のつまずきに対する研究は、先を走っている欧米でもまだ始まったばかりだといわれています。日本でも専門の研究者は本当に少数です。「読み・書き」のつまずきに比べてもたくさんの要素が混じっていて、学習にあたっては一人一人にじっくり取り組むことが大切です。

今回はどんな支援の方法が考えられているかについてまとめます。

月行事予定表 ~ 1月 ~

1	火	元旦	
2	水	学校閉鎖日	
3	木	学校閉鎖日	
4	金		
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水	授業・給食開始 大掃除 あいさつ運動	
10	木		
11	金	持久走大会前健康相談 3組なかよし会	
12	土		
13	日		
14	月	成人の日	
15	火	学校安全の日	
16	水		健康教室
17	木	避難訓練(2校時)	生活点検週間
18	金		
19	土		
20	日	鴨川持久走大会(6年)	
21	月	朝会 委員会活動	人権作文コンテスト放送
22	火		自由参観
23	水		
24	木		
25	金	劇鑑賞6年(京都劇場)	
26	土		
27	日		
28	月	クラブ活動 音楽鑑賞教室(5年)	
29	火		
30	水		
31	木	交流給食(縦割り)	
2月6日		持久走大会	14日持久走大会予備日
8日		半日入学・入学説明会	19~21日 園工展
21日		授業参観・懇談会	